



《無題》1957-60



《トゥ マイ フレンズ》1974



《サウンドドレス(フォージョー・ジョーンズ)》2006



撮影: Marc Schulz

斉藤陽子(さいとう・たかこ)

1929年 福井県鯖江市生まれ。
1947～50年 日本女子大学で児童心理学を学ぶ。
1951～54年 中央中学校で教員を務める。
1952年 久保貞次郎が創設した美術教育運動「創造美育運動」に参加、デモクラート美術家協会のアーティスト茨戸や渡辺等の影響を受ける。
1963年 渡米
1964年 ジョージ・マチューナスの下で芸術運動「フルクサス」に参加
その後 フランス、イギリス、イタリアなど欧州各国を経て、現在はデュッセルドルフを拠点として創作活動を展開。五感を駆使するユニークなチェスや作品を観覧者と共同で作るユー&ミーショップなどで知られる作品は、日常生活と芸術を融合させる遊び心に満ちたものが多く、世界各国の美術館に収蔵されている。
(主な展覧会)
「斉藤陽子 叶える夢」2017-2018年 ジーゲン現代美術館・2019年 ポルドルー現代美術館 / 「ビビバ、ポ 陽子の肖像」2023年 ポーフム美術館

世界的アーティスト・^{たかこ}斉藤陽子、日本初の回顧展開催！

自由な表現と“あそび”の精神を通じて、観客をその世界に巻き込む作品を生み出してきた現代美術家・斉藤陽子。その創造の源は、戦後の美術教育運動「創造美育運動」で育まれた自由な創造力と、国際的前衛芸術運動フルクサスでの実験的な活動にあります。現在はドイツを拠点に、世界的に活躍する斉藤が、日本では初めてとなる回顧展を自身のふるさと・福井県鯖江市で開催します。本展では、約70年におよぶ創作活動の中から約300点を紹介。チェスやキューブによるゲーム、パフォーマンスやインスタレーションなどユニークな“あそび”と実験にあふれた表現は、体験・参加する側の創造力、想像性を引き出してくれます。子どもも大人も、アートの楽しさと出会い、自由な表現の世界にまきこまれていく——不思議でたのしい空間をお楽しみください。



《エッチング ボックス》1968



《フルクサス チェス(通称グライNDERチェス)》1964



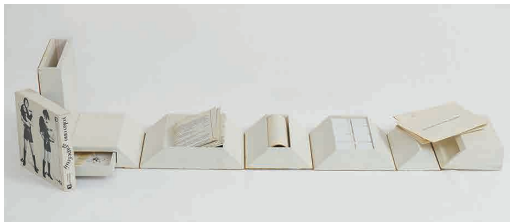
《プレイ チェス ウィズ ザ サン》1993

フルクサス
関連作家展示

オノ・ヨーコ

幾嘸 (Ay-O)

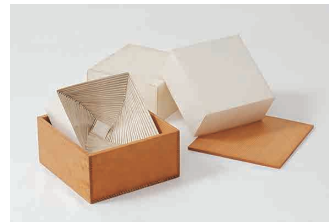
塩見允枝子 (しおみ・みえこ)



《ディス イズ ノット ヒア: カタログ ボックス》1971



《ボイル アンド フライ(バイオリン)》1992



《エンドレス・ボックス》1963-65

展覧会公式サイト



関連イベント

※[参加無料]イベントはすべて展覧会観覧券が必要です。(要申込・先着順)
このほかにもイベント開催する予定です。詳細は展覧会公式サイト等でお知らせします。
最新情報は展覧会公式サイトで確認してください。

- アートトーク
由本みどり(ニュージャージー・シティ大学教授)
「鯖江から世界へー斉藤陽子70年の軌跡」
日時: 8月9日(土) 16時～ / 定員: 50人
- 「ドイツからオンラインでつなぐ
斉藤陽子オープニングパフォーマンス」
日時: 8月9日(土) 18時～ / 定員: 30人
(注)オンラインのため時間が変動する可能性があります。
- アートトーク
深瀬鋭一郎(深瀬記念視覚芸術保存基金代表)
「斉藤陽子 創造の原動力」
日時: 8月30日(土) 14時～ / 定員: 50人

- “あそび”ワークショップ①
「サウンドボックスをつくる」
日時: 8月17日(日) 13時半～ / 定員: 10名
- “あそび”ワークショップ②
「サイレントミュージックを体験しよう」
日時: 8月23日(土) 13時半～ / 定員: 10名



申込方法
お電話か申込フォームにて
お申し込みください。



アクセス

鉄道 ▶ 福井鉄道福武線(西山公園駅)から徒歩5分
バス ▶ ハビラインふくい鯖江駅よりつつじバス循環線(市役所)から徒歩3分
車 ▶ ハビラインふくい鯖江駅から約5分
鯖江ICから約5分

鯖江市まなべの館

鯖江市教育委員会文化課
〒916-0024
福井県鯖江市長泉寺町1-9-20
Tel 0778-51-5999-0778-53-2257
Fax 0778-54-7123



Sabae Manabe Museum